

【授業実践振り返りカード】 4月

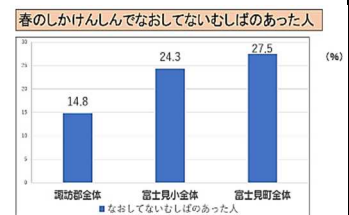
学校名 富士見小学校	1 学年
授業者氏名 山科美里	
題材名 「はみがきを しっかりしよう。」	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、○○に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、○○することを通して（本時の中核的な学習活動）、○○する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 学校での給食がスタートした子ども達が、学校探検を通して出会った保健の先生から歯みがきの大切さを聞き、紹介してもらった歯みがき動画を見ながら歯みがきをするを通して、給食後の毎日の歯みがきの習慣化を定着することができる。	
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） 保健の先生から紹介してもらった歯みがき動画。 保健の先生からの歯みがきの大切さのお話。	
成果 ・給食準備時に、水を入れたコップと歯ブラシを用意することで、食後の歯みがきにスムーズにつながっている。 ・ごちそうさまの後、すぐに歯みがき動画を流すことで習慣化することができている。 ・音声と映像両方の動画であるため、1 年生でも分かりやすく、一生懸命マネをして取り組もうとしている。	
課 題 ・給食が遅い児童が、1 ～ 2 名ほど全ての歯みがき時間に参加できない。	

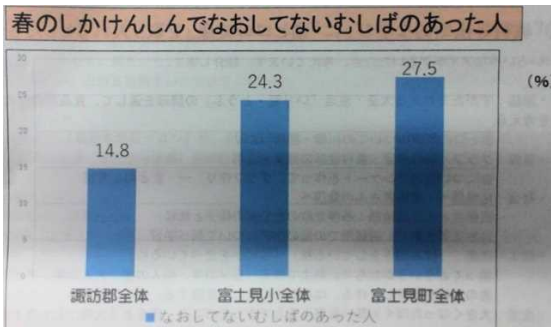
【授業実践振り返りカード】 4月

学校名 富士見小	学年 2年
授業者氏名 長田 文彰・手塚 幹也	
題材名 「うさぎさんって、どんな歯をしているのかな？」	
主 眼<フォーマット>	
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 2年生でお世話をするうさぎさんの餌について学んだ子どもたちが、うさぎの餌の食べ方や歯の大きさ・食べ方に着目し、観察して観察カードに記入することを通して、動物の歯（うさぎの歯）に興味をもち、自分の歯との相違点に気づくことができる。	
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） ・中庭にいる「うさぎさん」を生活科の学習の時間にふれあうこと ・観察カードに記入する仕方や内容を学んでおくこと ・パソコンによる調べ学習（Google フォーム等） ・・・自分の見た目と資料との違い・ギャップ	
成 果 ・歯に視点を当てた授業は初めてだったので、子どもたちが興味をもち、意欲的に取り組んでいた。 ・肉食、草食の違いに何気なく気づき、他の動物（動物園にいそうな、ライオン、トラ、サル、パンダなど）の歯に意識が広がっていったこと。 ・自分自身1人では、Google フォームを使って、調べたい内容を打っていくことはできなくても、ローマ字を打ってあげることで、調べ学習が成立したこと。	
課 題 ・ICT を1人で使って調べ学習すること ・危険性があり、うさぎ（実物）の歯を直接、見ることができず、資料に頼ることになったこと。 ・観察カードに記入する力に差があり、思っていることを自分自身で表現できにくい児童がいること。	

【授業実践振り返りカード】 4月

学校名 富士見小学校	3 学年
授業者氏名 小林 直美	
題材名 「自分の歯ってどんな歯？～自分の歯のじょうたいを知ろう～」	
主 眼 歯科医が歯科健診のときに使う記号の意味を知った子どもたちが、2年時に行った歯科健診の結果を見て自分の歯の状態に着目し、健康な歯やむし歯、治療した歯などを歯の図に色分けしたり、歯垢や歯ぐきの状態について当てはまる状態に丸をつけたりすることを通して、2年時までの自分の歯の状態を知ることができる。	
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） ・ R6 年度春の歯科健診で直してないむし歯のあった人の棒グラフ （諏訪郡全体・富士見町全体・富士見小全体の比較図） ・ R6 年度歯科検診カード	
成 果 ・ 昨年度の富士見小学校の歯の治療率が、諏訪郡内に比べ、明らかに低いことに子どもたちが問題意識をもつことができた。 ・ 自分の歯の状態を知り、自分のこれまでの歯みがきの仕方に自信を持ったり、逆に危機感を覚えたりし、歯みがきの重要性について見つめ直すきっかけとなった。 ・ 自分の歯が予想したよりも健康であることが分かった子どもが多く、「これからむし歯ができないようにしたい」という思いを強くすることができた。 ・ 歯科医が歯科健診のときに使う記号を知ったことで、5月にある今年度の歯科健診の自分の歯の状態について関心をもって臨むことが期待できる。	
課 題 ・ 歯みがきの重要性は分かっても、実践にうつせない児童がいることが予想される。給食後の歯みがきに集中して取り組めるよう、個別に声がけをしていきたい。 ・ さらに、自分の歯への関心を高められるように、他教科と関連づけながら学びを深めていきたい。 ・ 治療率の低さは、富士見小学校だけでなく、富士見町全体としての課題でもある。保護者の方の認識の低さでもある。それらのことを踏まえて、今後の活動の方向を子どもたちと探っていきたい。	



学校名 富士見小学校	学年 4 学年								
授業者氏名 高橋 準									
題材名 「なりきって書こう」(国語)									
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ(or 体験した・調査した)子どもたちが(既習や経験)、○○に着目し(健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方)、○○することを通して(本時の中核的な学習活動)、○○する力(育成する資質・能力)を培うことができる。									
主 眼 富士見町の歯に関する現状を学んだ子どもたちが、経験したことや想像したことなどに着目し、歯になりきって文を書くことを通して、歯に対する興味や関心を培うことができる。									
学習材 (本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等)  <table border="1"> <caption>春のしかけんしんでなおしていないむしばのあった人 (%)</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>富士見小全体</td> <td>14.8</td> </tr> <tr> <td>富士見小全体</td> <td>24.3</td> </tr> <tr> <td>富士見町全体</td> <td>27.5</td> </tr> </tbody> </table>		対象	割合 (%)	富士見小全体	14.8	富士見小全体	24.3	富士見町全体	27.5
対象	割合 (%)								
富士見小全体	14.8								
富士見小全体	24.3								
富士見町全体	27.5								
成 果 歯に関する学習の導入に適していると感じた。4 学年の国語の小单元だが、活動自体は、どの学年でも実施可能(1 年生は書かずに伝え合うなどの工夫は必要)。 書いている最中に、「むし歯ってどうやってできるんだっけ?」「自分はむし歯があって…。」「○○に気を付けて歯みがきしているんだよなあ。」という、歯に対する興味や関心が高まっていると感じる言葉も聞こえた。									
課 題 今回は事前に学習することが少ない状態で活動したが、十分に歯について学習した後に活動することで、事実(専門的な知識)をもとに歯になりきって文章を書くことが可能になりそう。歯の学習の導入だけでなく、单元中やまとめとして書くのも効果的のように感じる。									

【授業実践振り返りカード】 4月

学校名 富士見小学校	学年 5 学年
授業者氏名 森下 侑也	
題材名 「夢を実現するためには」(道徳)	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ(or 体験した・調査した)子どもたちが(既習や経験)、○○に着目し(健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方)、○○することを通して(本時の中核的な学習活動)、○○する力(育成する資質・能力)を培うことができる。	
主 眼 目標達成シートを作り、夢に希望をはせた子どもたちが、すべての土台には健康があってこそ成り立つという考えに着目し、歯の健康が体の健康につながる事例を調べることを通して、歯と口の健康に前向きな興味を持つことができる。	
学習材 (本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等) 道徳教材「夢を実現するためには」 スポーツや学びと歯の健康に関わる事例	
成 果 夢をかなえるための具体的な手立てとして、健康が大切だという意見をもつ児童が複数おり、自然な流れで歯の健康の話と結びつけることができた。 事例を紹介している最中に、「歯をしっかり磨かなきゃ」といった声が聞こえてきた。学びにも歯に関わることを初めて知った児童もあり、興味関心を持つことができていた。	
課 題 歯の話は、授業の終末場面で初めて登場させたため、意識付けとしては効果が弱かったかもしれない。	

学校名	富士見小学校	学年	6 学年
授業者氏名 大道 健人			
題材名 「 よくかむって大切? 」			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ (or 体験した・調査した) 子どもたちが (既習や経験)、〇〇に着目し (健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方)、〇〇することを通して (本時の中核的な学習活動)、〇〇する力 (育成する資質・能力) を培うことができる。			
主 眼 よく噛んで食べることは消化によいからだと考えている子どもたちが、よく噛むことと健康に生きるものの関係性に着目し、噛むことの様々な効用について知ったり、実際にチューインガムを噛んで風船を膨らませようとしたりすることを通して、日常的によく噛んで食べようとする態度や習慣を身に付けることができる。			
学習材 (本時、子どもに提供する最大の情報: 実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等) ・ ロッテさんから無料でいただいたチューインガム ・ 「ひみこのはがいいぜ」 標語			
成 果 ・ 子どもたちからは、「胃腸の消化によい」「あごの力がつく」しか考えが出されなかったが、よくかむことの 8 大効用「ひみこのはがいいぜ」を伝えたことで、日常的によく噛んで食べようと振り返る子どもが多かった。 ・ 「ガン予防にもつながると知ったから、おばあちゃんに伝えたい。」と、他者に伝えようとする振り返りもあった。			
課 題 ・ 噛むことに関するアンケートで、一口 30 回以上噛んでいると回答した児童は、8 分の 1 程度 (30 人中 4 人) だった。 ・ 日常的によく噛んで食べているのか、調べる必要がある。 ・ 「よく噛むこと」をねらいに置くことが、6 年生のねらいとして適当であるのかよく調べたい。 ・ 健康のために、かたい物を選んで食べようという意識には至っていなかった。			